

(1) 工事コストの低減

①計画手法の見直し

地区境界沿いを盛り掛けることにより、工事コストを縮減

鳥栖都市開発事務所 鳥栖地区整地(12-1)工事

【施策の概要】

地区境界内外において、平均1～3m程度の高低差が生じることから（地区内が高い）、境界に沿ってプレキャストL型擁壁（L=310m）を設置することとしていました。

ねばり強く地権者と交渉を続けたところ、賛同が得られ工事発注段階で地区境界沿いを盛り掛けることが可能となりました。

【施策のポイント】

- ・プレキャストL型擁壁の材料費・施工費が低減できました。
これにより、約15%の工事コストの縮減が図られました。
- ・工期が短縮できました。
- ・将来的な維持管理が容易になりました（→維持管理費の低減）。

【施策の実施状況・イメージ図】

（従来：プレキャストL型擁壁による施工）

掘削・床付→基礎工→擁壁据付→埋戻

現場期間：約100日 工事費：約39,232千円

（今回：盛り掛け施工）

盛土→（一部擁壁施工）→法面整形

現場期間：約20日 工事費：約7,188千円

※約32百万円のコスト縮減が図られた。